

## 令和4年度 第1回三鷹市スポーツ推進審議会 会議要旨

|     |  |      |             |
|-----|--|------|-------------|
| 開催日 | 令和4年4月22日（金曜日）   | 時間   | 15：30～16：30 |
| 会場  | 三鷹市役所 第二庁舎4階 242、243会議室<br>(オンライン併用)   | 傍聴人数 | なし          |
| 出席者 | <会場参加>松野委員、塚田委員、五味川委員、助友委員、細川委員、藍澤委員<br><オンライン参加>吉田委員、相原委員、鈴木委員、高柳委員、寺田委員  |      |             |
| 欠席者 | 高橋委員、矢本委員、古川委員   |      |             |
| 行政  | 大朝スポーツと文化部長、高松スポーツと文化調整担当部長、小林三鷹中央防災公園・元気創造プラザ担当課長、丸岡スポーツ推進課主任、佐藤スポーツ推進課主事   |      |             |
| 内容  | <p>1 会長あいさつ</p> <p>2 委嘱式<br/>新委員（五味川委員）自己紹介</p> <p>3 開会（事務局）</p> <p>(1) 委員出席状況について<br/>委員の出席状況は、委員定数14人のうち11人（会場6人、オンライン5人）の出席により、委員の過半数が出席し、定足数に達していることから、本日のスポーツ推進審議会は有効に成立している。</p> <p>(2) 傍聴希望について<br/>市民会議、審議会等の傍聴は、「三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、原則として公開している。現時点で傍聴の希望はないが、希望があった場合、条例に基づき、入場いただく。</p> <p>(3) 会議録の作成と公開について<br/>三鷹市の市民会議、審議会等では、会議録を要録として作成し、公開している。会議の内容を録音し、会議録の原案を出席委員に確認のうえ、市のホームページと総務部相談・情報課にて公開を行う。</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 三鷹市体育協会への補助金の交付について<br/>(高松スポーツと文化調整担当部長説明)</p> <p>ア 令和4年度三鷹市体育協会補助金対象団体調書について（資料1）</p> <p>(イ) 三鷹市体育協会からの申請に基づき交付するものである。スポーツ基本法第35条において、地方公共団体が社会教育関係団体であるスポーツ団体に対し補助金を交付する場合には、あらかじめ、地方公共団体にあつては、市長がスポーツ推進審議会等その他の合議制の機関の意見を聴かなければならないとされている。この規定に基づき、三鷹市体育協会への補助金について、三鷹市スポーツ審議会の意見をお聞きする。この趣旨は、本来自由で自主的な活動をする旨とする社会教育関係団体に対し行政が補助金を支出することにより、団体に対し不当な統制的支配や事業への干渉が加えられることがないようにとの確認という趣旨によるものである。</p> |      |             |

|     |  |
|-----|--|
| 内 容 | <p>(イ) 補助金について<br/> 昨年度 31 団体 14,364,000 円<br/> 今年度 32 団体 14,801,000 円 (昨年度比 437 千円増)</p> <p>(ウ) 三鷹市体育協会に対する補助金交付決定額について<br/> 令和 3 年度 11,516,777 円 (実績)</p> <p>(エ) 補助金執行実績について<br/> 表のとおり</p> <p>(オ) 補助金執行計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動費補助 加盟団体が 1 団体増えたため、令和 3 年度執行計画比増</li> <li>・派遣費補助 令和 3 年度執行計画と同額</li> <li>・事業費補助 タイム計測支援サービス 900,000 円について (前年度比 450,000 円増) 市民大会水泳競技「社会人対象の大会」に加え新たに「少年対象の大会」についてもタイム計測器を導入することとしたため</li> <li>・事務費補助 前年度比 43,000 円減</li> </ul> <p>松野委員：事務局の説明について理解した。<br/> 助友会長：三鷹市体育協会への補助金交付については、審議会として異議なし</p> <p>(2) SUBARU総合スポーツセンターについて<br/> (小林三鷹中央防災公園・元気創造プラザ担当課長説明)</p> <p>ア SUBARU総合スポーツセンターの利用者数の推移について (資料 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 3 年度 約 50%~90% (平成 30 年度比)</li> </ul> <p>イ SUBARU総合スポーツセンターの利用者の声について (資料 3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者満足度 約 75% (令和 2 年度)</li> <li>・令和 4 年 1 月から 3 月の利用者の意見及び要望は、施設的にはプールに関する意見が約半数を占める。プールの深さの設定、時間区分、更衣室の床の衛生状態に関することについて改善を求める意見をいただいた。</li> <li>・スタッフの接遇に関して感謝の意見をいただいた。</li> </ul> <p>ウ スポーツ教室の利用実績について (資料 4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期教室利用 約 70% (平成 30 年度比)</li> <li>・教室受講者アンケート結果について<br/> 目的達成者の意見：「体が軽くなった。」「体力がついた。」「腰痛がなくなった。」「運動の仕方が分かった。」等<br/> 目標未達成者の意見：「コロナ禍のため休講になり十分な運動ができなかった。」「自宅では運動を継続できない。」等</li> <li>・運動習慣を定着するため、スポーツ教室の受講後にも運動の継続が課題である。</li> <li>・スポーツ教室のチラシについて<br/> 子どもが教室に参加している時間帯に、親が参加できる別の運動プログラムを紹介している。(木曜日夕方)</li> </ul> <p>エ 健康・体力相談事業の利用実績について (資料 5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用件数実績 約 60% (平成 30 年度比)</li> <li>・受講者自身がインストラクターに自分が目指す体のコンディションを伝</li> </ul> |
|-----|--|

|            |   |
|------------|---|
| <p>内 容</p> | <p>え、体組成計や体力チェックを行い、受講者に合った個別の運動プログラムを作成するものである。自宅でも継続的にできる運動プログラムで3か月コースではその間に3回トレーナーが状態をチェックし、プログラムの修正とアドバイスを行う。</p> <p>・効果が感じられるという受講者の声がある。</p> <p>(高松スポーツと文化部調整担当部長より情報提供)</p> <p>三鷹中央防災公園・元気創造プラザ情報発信動画について(資料9)</p> <p>ア スポーツ、生涯学習、健康、福祉、公園、防災等の多様な機能があるが、各フロア・部署の機能が融合する施設を目指したい。令和3年度にその一環として、各フロアの専門性を活かしながら、連携した情報発信の動画を作成し、YouTube スポーツと文化部チャンネルにて公開している。</p> <p>イ 「元気創造プラザに寄り道!元気をもち帰ろう」について<br/>高齢者及び、30~40歳代の女性向けに、運動習慣の現状、運動がもたらす効果及び施設の利用紹介の情報を伝えている。</p> <p>ウ 「みなさんを守る中心拠点として」について<br/>災害時の施設の機能転換等についてお伝えする内容である。</p> <p>QRコードからアクセスして、ぜひご覧いただきたい。</p> <p>助友会長にご協力いただき感謝する。</p> <p>助友会長：SUBARU総合スポーツセンターの利用状況については、例年は利用者数のみの報告だが、今年度は審議会で実際に利用者の声を聞いた報告があり、これまでの活動を評価して今後の方向性を議論したい。動画作成については、協力させていただいた。スポーツ実施率が非常に低い子育て世代に介入する必要があるという議論が着任以来何年もある中、動画を利用してアプローチすることを初めて試みた。ブラッシュアップしていくために、動画をご覧いただき意見をいただきたい。</p> <p>他に質問はあるか。</p> <p>鈴木委員：3点質問がある。資料3の利用者満足度の推移のパーセンテージについて、母数は何か。</p> <p>資料4の子どもが運動している時間帯に保護者が参加できるプログラムを導入したスポーツ教室について、30~40歳代の女性へのアプローチは新しい試みだと思う。実際の利用状況を教えてほしい。申込みは多いのか、アプローチは届いているのか。</p> <p>資料5の利用率について何に対するパーセンテージか教えてほしい。</p> <p>小林課長：資料3のスポーツ教室の満足度については、スポーツ教室の受講者の「非常に満足をした」という数字を拾った。</p> <p>資料4のスポーツ教室の親子の利用実績については、利用率の資料がないためお示しできない。</p> <p>資料5の健康・体力相談事業については、申込みできる枠数に対し、利用者数が55%あったということである。</p> <p>鈴木委員：資料5の利用率は、半分の人が利用したということか。</p> <p>小林課長：申込枠として用意した枠に対して、55%が埋まったという利用率であると、認識していただきたい。</p> |
|------------|---|

|     |  |
|-----|--|
| 内 容 | <p>鈴木委員：資料3について、75%の方が満足しているということは、利用者は概ね満足しているということか。</p> <p>小林課長：スタッフの対応、教室の内容等、満足である回答をいただいている。</p> <p>助友会長：他にないか。</p> <p>寺田委員：利用者の声で様々な要望があるが、全ての対応はできないとは思いますが、どのような手順で対応していくのか、またその対応方法を決定する会議体などのようなものがあるのかを聞きたい。</p> <p>小林課長：皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、すべてに対応することは難しいが、ひとつひとつ丁寧に対応している。例えば、スポーツ教室中に流す音楽について、アップテンポな音楽にしてほしい、音量を大きくしてほしい等、個々の好みに対するものについては、偏りができてしまうので困っている。流行も考慮しながら、スポーツ教室を行っているセントラルスポーツと一緒に丁寧に対応していきたい。またプールの深さについては、子どもが多く利用する土曜日、日曜日に可動床の深さを調整している。</p> <p>寺田委員：時間を変えてほしいとか、そういった個々の対応は、会議体で決めるなどの何かプロセスがあるのか、またはその場で対応しているのか。</p> <p>小林課長：スポーツ教室とは違う例になるが、コロナ禍で特に夏休みのプール利用について、混雑緩和の対応策として、7月、8月に整理券を配布した。たとえば自分の番号は500番で、現在入場できる番号はまだ300番なので、もう少し時間がたったら行こうなど、利用者が自分の番号が分かりつつスムーズに入り、混雑の列に並ぶようなことがないように配慮した。床の深さについては、子どもが多い土曜日、日曜日には、様子をみながら可動床を調整しているなど、個別に対応している。</p> <p>助友会長：利用者の声を審議会に上げることにより、議論を始めることができた。お気づきの点について、意見をいただきたい。</p> <p>その他は、いかがか。</p> <p>相原委員：三鷹中央防災公園・元気創造プラザの情報発信の動画について、30～40歳代の女性のスポーツ実施率を上げるために動画作成されたが、その方々からの反響や、再生回数及び、どのような見込みで作成し、現状の反応や状況はいかがか。</p> <p>高松部長：3月末に公開のお知らせをホームページに出した。ターゲットへどのように情報を届けていくかが課題である。30～40代の女性の方向けにどのようにPRしていくか、また、高齢者の方が集まる団体に効果的に紹介する方法を検討してPRしていきたい。</p> <p>相原委員：ウオーキングのアプリや、動画コンテンツ等、世間には同様な情報があふれている中で、動画を見たいと思わせるような戦略や、PRをしなければならぬ。せっかく作っても作っただけで終わってしまわぬように、三鷹市ならではの強みを活かし、コンテンツを広げてほしい。</p> <p>助友会長：重要なお指摘のとおり、このコンテンツをツールとして利用し、今後どのようにプロモーションしていくかについて議論を続けたい。</p> |
|-----|--|

|     |  |
|-----|--|
| 内 容 | <p>5 行政報告及び審議会スケジュール<br/>(大朝スポーツと文化部長説明)</p> <p>(1) 三鷹市スポーツ審議会報告 (資料6)</p> <p>ア 行事实績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みたかスポーツフェスティバル (2月20日)<br/>人数制限等、感染対策を厳密にした。例年の来場者は延べ約1万人となるのを約1,000人弱に人数制限となったが、無事に開催した。</li> <li>・タッタカくんウオーク&amp;ラン スタンプラリー (3月4日~31日)<br/>コロナ禍のため様子を見て開催した。</li> <li>・ホストタウン事業 日本とチリの俳句交流プログラム<br/>東京2020大会を契機にチリ共和国のホストタウンのため、レガシー事業として募集している。また今年は日本とチリの外交関係樹立125周年にあたり、チリではクオーターは重要な数字のため、節目となる。<br/>俳句交流プログラムは、在日大使館との共催で、三鷹市民は日本語で、チリ国民の皆さんはスペイン語で、お互いの俳句を詠みあい、優秀な俳句は相互の言語に翻訳して交流するというプログラムである。委員の皆様も是非投句を検討いただきたい。</li> </ul> <p>イ 行事予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「JAPAN RUGBY LEAGUE ONE」三鷹市民特別招待 (5月1日)</li> <li>・ラテンアメリカへの道フェスティバル お台場 (5月3日~5月5日)<br/>南米関連のフェスティバルが行われ、チリの出展等があり三鷹市もブースの出展をする。また第二中学校の合唱部の皆さんがステージ上でチリ国歌を歌う。ぜひご参加いただきたい。</li> </ul> <p>(2) 令和4年度スポーツ推進審議会の日程について (資料7)<br/>今後の日程について、確認をした。</p> <p>6 閉会あいさつ (助友会長)</p> <p>任期は、2年間のため7月2日までとなるが、今期は本日の審議会が最終回となる。新しいコンテンツは増え、利用者の満足度に関する記述を審議会に提示いただいたので、今後お気づきの点があればスポーツ推進課に意見を寄せてほしい。</p> <p>以上</p> |
|-----|--|